

## 第3回 かながわ朝市サミット

～小田原にて開催～

報告者 大場保男

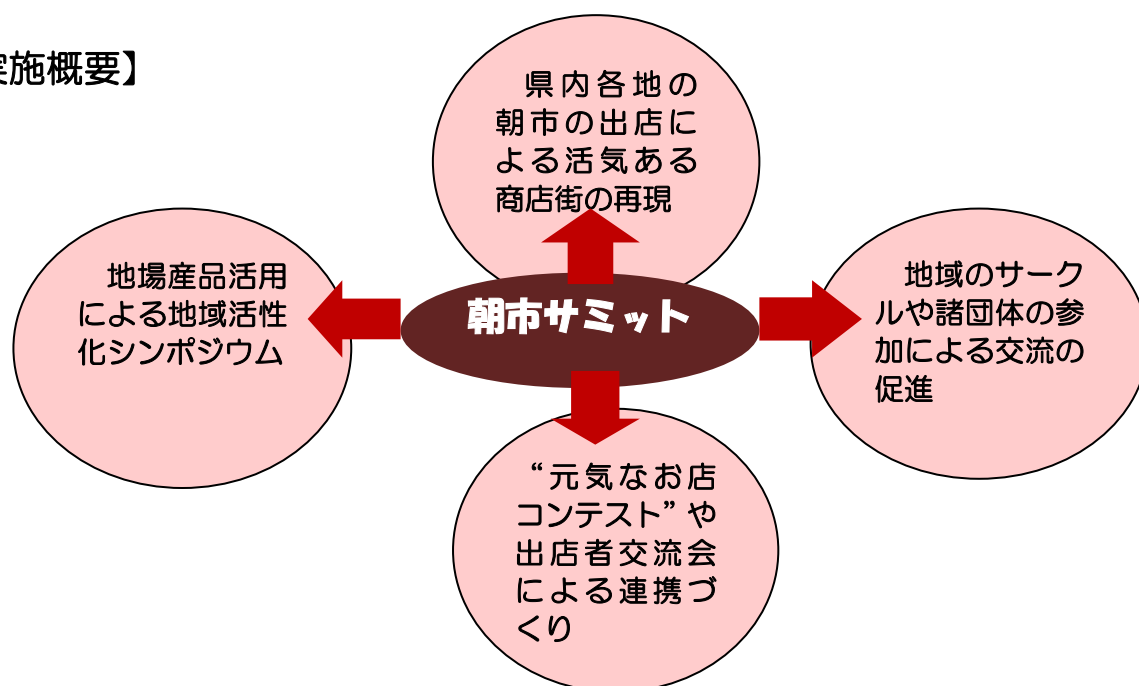
神奈川県内の朝市が一堂に会し、朝市の魅力や県内各地の逸品や特産品をもっと多くの人に知ってもらおうと、平成22年より「かながわ朝市サミット」が実施されてきました。第1回の横浜、第2回の平塚に続き、第3回は小田原での開催となりました。

■実施日時 平成24年3月25日（日） 11時～15時

■実施場所 小田原市の青物町商店街の歩車道を会場に実施

青物町は北條時代に野菜の市が立ったことからその名が付いたと言われています。いわば朝市の原点ともいうべき場所です。

### 【実施概要】



#### ア 県内各地の朝市の出店による活気ある商店街の再現

小田原市をはじめとする神奈川県内各地の朝市出店者および当サミットの趣旨に賛同する出店者による朝市の実施によって、来場者の朝市の魅力、各地の逸品や特産品をアピールする。

#### イ 地元団体や地域の学校、サークルなどの参加による交流の促進

地元団体や学校、サークルなどの出店してもらい、各団体のアピールと交流促進を図っていく。

#### ウ 生バンド演奏や和太鼓、飲食が楽しめる交流スペースの設置

イスやテーブルを設置して、朝市で購入した食べ物や飲み物を飲食でき、来場者が交流できるスペースを設ける。ここでは、地元の生バンド演奏や踊りなどを楽しめるよ

うにする。

## エ シンポジウム

県内の行政や商工会・商工会議所、商店街、地域の活性化や街づくりに関心のある人々を対象にシンポジウムを実施する。テーマは「歴史資源を活かした地域の活性化」とし、場所は「小田原宿なりわい交流館」とする。時間は午後1時～3時。

- ・ 専門家による基調講演
- ・ パネルディスカッション

## オ 元気なお店コンテスト

来場者の投票によって「元気な朝市コンテスト」を実施し、優勝者には「神奈川新聞社杯」を授与する。これによって、小売の原点である会話と笑顔のある対面販売の良さを再認識する。

## カ 出店者の交流会

出店者同士の交流を図るために、出店撤収後に出店者交流会を実施する。この場で「元気なお店コンテスト」の表彰式も行う。場所は「小田原宿なりわい交流館」とする。

### 【実施結果】

今回も、第1回の横浜、第2回の平塚に引続き、多くの人々が来場しました。商店街や周辺地域の人たちが「この商店街にこんなに人が来たのを初めて見た」というほどの盛況でした。

#### 1 朝市の出店者数と来場者数

出店者数、ブース数とも、今まで実施した朝市サミットの中では最大でした。小田原駅から徒歩で20分という駅から距離がある商店街で実施でしたので、1万人は無理だろうと予測していましたが、予測をはるかに上回る来場者数でした。

出店者数	100店
	(小田原市内：51店 小田原市外：49店)
ブース数	113ブース
来場者数	約2万人



#### 2 元気なお店コンテスト

来場者の投票による元気なお店コンテストは下記の出店者が表彰されました。

最優秀賞	パスの店 (小田原市)	大勢の子供たちが大声で元気に野菜などを販売していました。
優秀賞	湯河原十二庵	IT業界から参入した異色の豆腐店です。

#### 3 シンポジウム

当日13時～15時まで小田原宿なりわい交流館で行われたシンポジウムは、定員が30名のところ、立見が出るほどの盛況でした。